

論理的思考力を育成する国語科学習の改善
「ビーバー絵本を作ろう ビーバーの大工事」(2年)

(1) 主張点

1 本単元で育成する国語力をこうとらえる

- ・ 形式段落を整理しまとめながら絵本の目次を考えたり、主述の関係をとらえながら箇条書きに整理したりすることを通して、物事の手順を理解し表現する論理的思考力を育てる。
- ・ 絵本づくり(言葉と絵で読み取ったことを表現する)を単元を中心とする学習活動とすることで、読む目的、表現する(クイズ作り)目的を明確にし、目的に応じて理解したり、自分の考えを表現する力を育てる、非言語情報を言語化したり統制したりする場を意図的に設け、絵や写真を言語化して表現する力や言語と写真や絵とを結びつけて読む力、写真・絵などを効果的に活用する力を育てる。

2 学習指導・評価のポイント

目的に応じて理解し、解決する能力の育成を図るために明確な目的を設定する。

書かれている事柄の順序に注意して正確に読みとる力を育てるために4つの学習活動の段階を経ながら確かな力として身に付けることができるようにする。

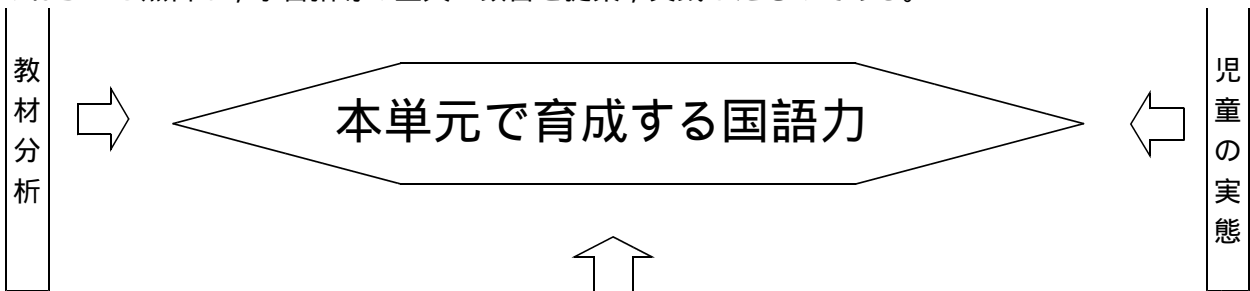
低学年の発達段階の特性を考慮した豊かな読解に導くための体験活動を重視し、ビーバーの行動を具体的にイメージできるようにする。

絵本に載せる写真や絵を考える場を設け、本文と写真とをつないで読むことを繰り返すことで、写真の効果や役割を考え、非言語からの情報の読みとりに気付き自分の読みを深める力として身に付けることができるようにする。

あとがきを書く場では、読み取りの内容だけでなく表現の工夫も観点にもたせることで、自分の学習した力を自覚できるようにする。

(2) 単元の構想に当たって

本単元は、教材分析、児童の実態を踏まえ育てたい力を上のように定め、読解力向上の指導のねらいと照合し、学習指導の工夫・改善を提案、実践したものである。



読解力向上の指導のねらい『読解力向上に関する指導』(文部科学省)p15～18参照
ア(ア) 目的に応じて理解し、解決する能力の育成
小学校低学年の段階から何のためにそのテキストを読むのか、読むことによってどういうことを目指すのかといった明確な目的を設定し、その解決のためにテキストを読む活動に慣れさせる。
ウ) 課題に即応した読む能力の育成
一つの単元(教材)が終了したときどのような能力を習得したのかを学習者が明確に自覚できるようにする。

イ(ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成

ウ(ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成

指導目標や学習課題に必然的に関わったり、目的に応じたりするパンフレットや図表なども含めた多様なテキストとの出会いを大切にする。

教材分析との関連

本単元は、絵本づくりという表現活動を核に、まず前半で「ビーバーの大工事」の事柄の順序に注意した正確な読み取りを、後半では読むことによって、さらに興味・関心を持った事柄について情報を収集・選択し、絵本の関連ページにクイズコーナーとしてつけ加え、交流し合うことを目標とした「読むこと」「書くこと」の関連単元である。

教材文「ビーバーの大工事」は、アメリカビーバーを素材に、その生態をビーバーの行動を主体とした「中心的な説明」とビーバーの体の構造や機能などの事柄を説明した「補足的な説明」の組み合わせで表現された説明文である。ビーバーの仕事の手順に従って「木を切り倒し運ぶビーバー」「ダムをつくるビーバー」「すをつくるビーバー」の三つの部分で構成されており、そのうえ、それぞれの部分の中で「木の運び方」「ダムのつくり方」「すのつくり方」と順序が述べられ、くり返し順序や事柄のまとまりを考えながら読み取ることができる。また、効果的な擬声語や臨場感あふれる修飾語、具体的な数値表現、比喻表現を用いながら平易で無駄のない簡潔な表現で書かれているうえ、叙述を補う写真があるため、子ども達がイメージをもって読むのにそう困難はないだろう。情報の把握の観点として、ビーバーの「仕事の手順」をとらえること、ビーバーの「体の特徴の表し方」、に注目して内容を読むこと、ビーバーの「大工事を行うわけ」を考えることを押さえつつ、一人ひとりの読みのイメージを交流し、読み深めることを楽しむことも大切にしながら「説明文の読み取り方」を意識させるようにした。次に、読み取った内容やもっと知りたいことを調べてクイズ形式に表して伝える後半では、読み取りで知り得た情報や各自の新たな疑問に基づいて調べた情報を、クイズという形で再構成することによって情報を伝える力を育てる場とした。

児童の実態との関連

児童は、6月に「たんぼぼ」で、まとまりや順序に気をつけて、たんぼぼの仕組みや花の開閉の秘密、なかまの増やし方など、説明されている事柄を読み取る学習を経験している。そして、形式段落の大体をとらえ、文章全体の構成（意味段落）に気付く力、時・花の様子を書き出したカードを操作したり動作化 絵で表現したりしながら順序を正しく読みとる力、友だちとの学び合いを通して、共通点や相違点を見つけ出そうとする力、言葉と絵をつないで考える力などを育み、内容を正しく理解したり、説明文を読む時の力として意識したりできるようになってきている。

そこで、本単元では、まず、書かれている事柄の順序に注意して正確に読みとる力を育てる場を、以下の四つの学習活動の場とし、段階を経ながら確かな力として身に付けることができるようにしたいと考えた。

絵本の目次づくり・・・ビーバーが安全なすを作るまでの**全体の順序**を読み取る。(目次)
(木を切り倒し川へ運ぶビーバー ダムをつくるビーバー すをつくるビーバー)

木を運ぶ様子
ダムをつくる様子 } を絵本に表しながら読む。
すをつくる様子 } 運び方・つくり方など、**物事の手順**を順序を正しく読み取る。
(箇条書き)

～ では、まず で、本文を箇条書きに書き出すことで物事の順序をわかりやすく表す方法を知り、 で各々がその方法を使って読み取り、 で前時までの読み取りを生かして本文では省略されている順序をリライトすることで読みの確認、評価を行う。このように、三つの学習場面で段階的に目標を設け、論理的思考力を育みながら、説明文を読む時の力として、子ども達自身にも自覚させたい。

次に、低学年の発達段階の特性を考慮して順序を追いながら動作化することでビーバーの行動を具体的にイメージできるようにした。後で挙げた本時の「ダムづくりをするビーバーの様子」では、

ビーバーの動作化に加え，ダムの様子の変化を実感できるように絵や簡易模型に表す体験活動を通して具体的にイメージできるようにした。ダムづくりの一連の順序は，何度も繰り返されることや家族とともに繰り返されることが新たな気づきとして再発見，再認識できた。

さらに，絵本に載せる写真や絵を考える場を設け，本文と写真とをつないで読むことを繰り返すことで，写真の効果や役割を考え，非言語からの情報の読みとりに気付き自分の読みを深める力として身に付けることができるようにした。例えば，写真にタイトルを付けたり，写真から得た情報を言語で付け加えたりして絵本のページを作り上げていくのである。このように，写真や絵は単なるイラストやカットではなく，常に言葉を補ったり新しい情報を得ることのできるものとして意識できるようにした。本時では，教材文に載せられている写真が「ダムづくりをするビーバーの様子」を表す一部分であることに気付いたうえで，自分の絵本に載せる写真や絵について考える場を設定した。教材文に載せられた写真も含めた数枚の写真や絵から理由を明らかにして選ぶことで，非言語情報を読み取る力だけでなく，自分の読みの根拠に基づいた効果的な写真や絵の活用を考える力を育てることにもつながると思われる。

「読解力向上の指導のねらい」と学習指導の工夫との関連(単元構成参照)

・ア(ア)明確な目的の設定のために

本単元は，絵本づくりという表現活動を軸に展開する。ビーバーについて正しく分かりやすく伝えたいという課題意識を明確に持つことで，学習の必然性が生まれ，子どもたちは主体的に読もうとする。さらに，絵本のページに何を書くのか，どんな情報をどう表せばいいのか等，読む目的をはっきりもつことができる。例えば，「ダムをつくるビーバー」のページでは，ダムのつくり方の手順を，「いつ」「どこ」「だれ」「どうする(材料とすること)」という観点で整理することで情報を読み取り(どんな情報を)，箇条書きに表すことで分かりやすく伝えるための方法を知る(どう表すか)とともに自分の読み取りを確認できるようにした。

・ア(ウ)学習者がどのような能力を習得したのかを自覚できるように

あとがきを書く場では，読み取りの内容だけでなく表現の工夫も観点に持たせることで，自分の学習した力を自覚できるようにした。さらに，最終時の絵本の交流の場では，学習の成果を明示，賞賛することで自らの学びが自覚できるように支援した。

・イ(ア)テキストを利用して自分の考えを表現する場の設定

教材文から読み取った情報を絵と文で表して絵本をつくるという活動は，小見出しを付けてまとめた内容を，端的にわかりやすく書いたり内容を伝えるために有効な絵や写真を選んだりするなど，ある条件を満たしながら自分の考えを表す力を育てる必然的な場を設定することになる。

・ウ(ア)多様なテキストを読み自覚的な読みの力を育む体験を

後半のクイズ作りは，教科書以外の本やビデオ等様々なテキストに触れることになる。その際，ただ読むだけでなく教材文に触発されて知りたいと思った事柄に視点を絞って読み進めていけるよう自分の課題を明確にして読むことができるよう支援することが大切である。

(3) 単元の目標

話す・聞く	書く	読む
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすいクイズとするため互いのクイズの感想を聞き合う。 ・ 聞き手を意識してクイズを発問したり，友達のクイズに意欲的に答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事柄の順序に注意して箇条書きに整理する。 ・ 調べたことから取り上げる事柄を選び，わかりやすいクイズにまとめたり解答を書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書かれている事柄の順序に注意して正確に読み取る。 ・ 叙述にそって具体的に場面を想像し，イメージ豊かに読む。 ・ 写真と言葉を結びつけて読む。

(4) 単元構成 (全19時間)

時	学習内容	学習のねらい	教師の支援	
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーバーについて知っていることを話し合う。 ・ 題名から内容を予想する。 ・ 教材文を通読して、初発の感想を書く。 	教材文を通読したり初発の感想を交流したりしながら、学習の見通しを持つ。 (明確な目的の設定)	写真を利用したり児童の既習知識を引き出したりしながら、学習意欲を喚起する。 感想の内容を類別、まとめながら話し合いをリードし、明確に課題意識が持てるようにする。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初発の感想を話し合い、学習計画(学習課題と方法)を立てる。 	文章構成をとらえるとともに、まとめごとに内容をとらえ、小見出しをつける。 (テキストの構成理解)	
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形式段落のあらましをつかみ、全体を四つのまとめりに分けて小見出しをつけ、ビーバー絵本の目次とする。 	ビーバーが木をかじって倒す様子、切り倒した木を運んで泳いでいくビーバーの様子、ビーバーがダムを作る様子、安全な巣を作って暮らすビーバーの生活の様子を絵本に表しながら叙述にそって読み取る。 順序を表す事柄は箇条書きに整理して書く。 (テキストの理解解釈) (テキストを利用した表現力) (多様なテキストに対応する読解力)	短くまとめた形式段落の内容を(キーワードの取り出し)をもとに、大きなまとめり(意味段落)を考えることができるようにする。 (WS)
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめごとに、ビーバーの様子を読み取る。 木をかじりたおすビーバー 木を運ぶビーバー ダムをつくるビーバー(本時) すをつくるビーバー 		ワークシートを使いながら絵本のページのイメージ化を図り、学び方を指導する。(WS) 順序をわかりやすく表現することができる箇条書きについて指導する。 (番号を打つ、一文に一つの事柄、常体表記等) 「たんぼぼ」の学習を想起させ、写真や絵の活用の仕方を助言する。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ビーバーの大工事」に対して、思ったことや考えたことなどを発表する。 ・ 発表をもとに、絵本の後書きを書く。 	読み取ったことと自分の考えをつないで様々な知恵を持つビーバーについての感想や絵本のくふう点やよさについて書く。	後書きの観点を明らかにしておく。 (説明文の内容について 絵本のくふう点・よさについて)
第三次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく伝えるための工夫として、クイズ作りを提案し、クイズの作り方を学ぶ。 ・ 教材文をもとに「ビーバーのひみつ」クイズを作成する。 ・ グループでクイズを読み合っ、分かりやすい表現になっているかを教え合う。 	クイズ作りに興味を持ち、教材文からクイズに取り上げる事柄を積極的に調べたり探したりする。 文章から読み取ったことをクイズの問題と答えにして書く。 聞く人にとって、分かりやすいクイズになっているか話し合う。 (テキストを利用した表現力)	教科書の例を参考にして、クイズの書き方(×問題、三択問題、穴埋め問題等)や出題の仕方を確かめる。 クイズの問題文が教材文の叙述に沿っているか、問題と答えが呼応しているか、答えやすいクイズ形式を選んでいるか等について話し合えるように話し合いの観点を示す。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文に書かれていないビーバーについて知りたいことを発表し合う。 	調べる目的を明確にもつ。 本やビデオ・インターネットなどから、クイズに取	情報収集の手段について具体的に指導する。 収集した情報から友達に伝えた

<p>第四次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を得るための方法として、本やビデオ・インターネットなどがあることを知る。 ・ 興味のある事や知りたい事に関する情報を探して調べる。 ・ 調べて分かったことを書き出す。 ・ 調べたことをもとにクイズを作成する。 ・ クイズが分かりやすい表現になっているか見直す。 ・ できあがったクイズを絵本の目次と関連させてクイズのページとして付け加え発表し合う。 	<p>り上げる事柄を積極的に調べたり探したりする。</p> <p>クイズを作るための材料として調べた事を書き出しそれをもとにクイズの問題と答えを考えて分かりやすく書く。</p> <p>聞き手を意識してクイズを発問したり、友だちのクイズに意欲的に答えたりする。</p>	<p>い事柄を選択し、前次の学習方法を活用してクイズをつくることができるようにする。</p>
<p>第五次</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本を仕上げて交流し合い、学習活動を振り返る。 	<p>学習の振り返りをして感想をもつことができる。</p>	<p>学習の成果を明示、賞賛することで児童の意欲を喚起したり学習の充実感を得、学びの自覚ができるようにしたりする。</p>

2年

ビーバー絵本を作ろう 「ビーバーの大工事」

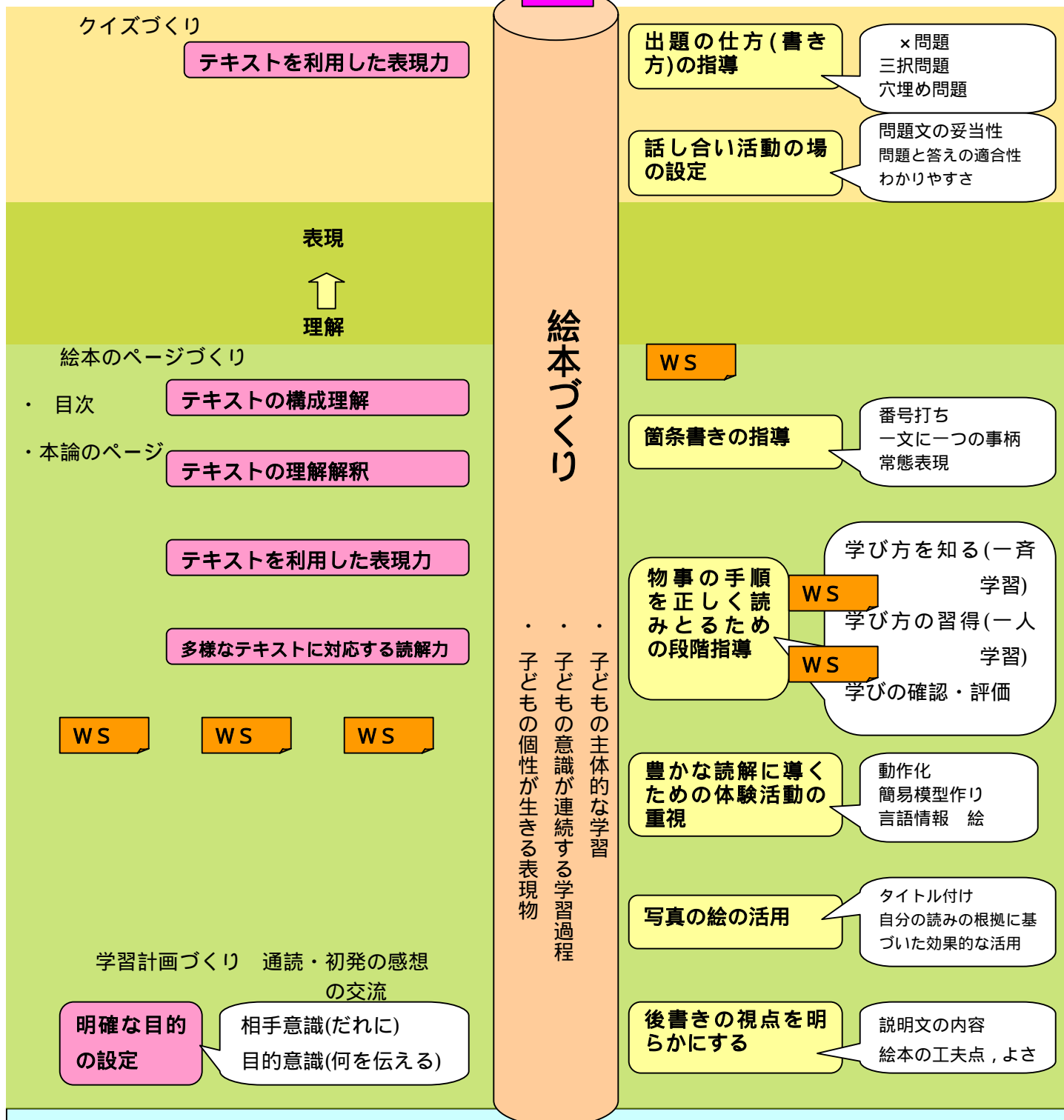
- 読解力育成を中心に -

育てたい力

- ・ 形式段落を整理しまとめながら絵本の目次を考えたり、主述の関係をとらえながら箇条書きに整理したりすることを通して物事の手順を理解し表現する理論的思考力を育てる。
- ・ 絵本づくり(言葉と絵で読み取ったことを表現する)を単元を中心とする学習活動とすることで、読む目的、表現する(クイズづくり)目的を明確にし、目的に応じて理解したり、自分の考えを表現する力を育てる。非言語情報を言語化したり統制したりする場を意図的に設け、絵や写真を言語化して表現する力や言語と写真や絵とを結びつけて読む力、写真・絵などを効果的に活用する力を育てる。

学習活動のねらいと実践

支援活動



5月「たんぽぽ」…基本的な読解力指導

- ・ 形式段落 意味段落をとらえる力(文章構成の理解)
- ・ 時間的な順序を正しく読み取る力
- ・ 説明文の読み方(学びの技術)の習得
- ・ 言語と絵とを結びつけて読む力

(5) 本時の学習指導

目標 ダムづくりの様子を絵本（文や言葉と絵）に表すことにより，ダムづくりの手順を正しく読み取り，文や言葉と絵をつないで様子を読み深めることができる。

本時の学習指導過程
学習活動

予想される児童の意識の流れ

教師の支援

1 本時のめあてを確かめる
・「ダムづくりをするビーバー」の場面～を教科書で確かめる。

いよいよ大工事の一つ，ダムづくりの場面だ。高さ2 m，長さ450 mもあるダムをつくるなんてすごいな。ビーバーのダムづくりのすごさを絵本に表すよ。

ビーバー絵本（文や言葉・絵）に表しながら，ダムづくりのようすを読み取ろう

絵本に載せたいビーバーのすごいところは
 ・じゅんじょよくダムをつくっているところ(ダムのつくり方)
 ・水中に15分間もいられること
 ・家族そう出でしごとをすること
 ・夕方から夜中までしごとをすること
 ・大きなダムをつくれること
 だよ。
 など
 前ページと同じ方法で，分かりやすくまとめよう。

- ・学習する場面を本文で確認しておく。
- ・15段落で紹介されているダムの大きさを，具体的に実感できるように助言し，意欲を図る。
- ・事前の学習をふり返り，どのように文や言葉で書き表すか思い出そうができるようにする。
 ・観点
 ・つくり方の書き方・・・簡条書き
 材料とビーバーがしたこと
- ・主述の関係を捉えることや書き方が困難な児童には，文章に補足説明を加えるなどして個別に援助する。

2 絵本に書く言葉や文を考える。
 (1)「いつ」「どこで」「だれ」「つくり方」の観点に基づいて，本文よりワークシートに一人一人書く。
 (2) 全体交流をして確かめる。

言葉や文で書くこと

いつ	どこ	だれ	つくり方(材料と手順)
夕方から夜中まで	水の中 川のほとり	ビーバー 家族のビーバーたち	木をくわえたまま，水の中へもぐっていく。木のとがった方を川の底にさしこんで流れないようにする。さしこんだ木の上に小えだをつみ上げていく。小えだの上から石でおもしをする。どろでしっかりかためる。 (一方の川ぎしから，反対の川ぎしまでつくればでき上がり。)

ダムづくりの様子はうまくまとめられたかな。ダムができあがっていく様子を再現して確かめよう

ビーバーの動き(動作化) ・何度も何度も木や石や泥を運ばないと行けないよ。 ・家族で力を合わせてするよ。 ・作り方の順番をまちがえないようにするよ。など	ダムのできあがる様子(絵・簡易模型) ・木 小枝 石・泥の順番でダムがつけられるよ。など
--	--

こうして，一方の川ぎしからはんたいの川ぎしまで少しずつのびていき，ダムができあがります。

家族みんなで力を合わせて何時間も，木・石・泥をつかって正しい順序で繰り返し繰り返し仕事をするからりっぱなダムができるんだね。やっぱりビーバーはすごい!(読解)

文ができたよ。どんな絵をかいたらいいかな。教科書の写真を見直してみよう。

3 ダムづくりのようすを表す絵を考える。
 (1) 教科書に載せられている写真を見直す。

P28 木をくわえて水中にもぐるビーバー つくり方 のところ ダムづくりの一部分しか表してないよ。ダムづくりの様子がよく分かるような絵を考えて絵本に表そう。	P29 小えだをはこぶビーバー 川のほとりでしごとをしている2ひきのビーバー 完成したダムの写真 りっぱなダムの様子がよく分かる。 ほんもののダムを写している。 など
--	---

ダムづくりに関連する写真や図(5場面)

P28 写真 水の中へ潜っていくビーバーの様子がよく分かる。 写真は本当の姿を写している。 など	P29 写真 小枝を抱えているビーバーの様子がよく分かる。 写真は本当の姿を写している。 など	水中でのダムづくりの絵 家族総出で仕事をしている様子がよく分かる。 できあがっていくダムの様子がよく分かる。 など	川のほとりでのダムづくりの絵 家族総出で仕事をしている様子がよく分かる。 など	完成したダムの写真 りっぱなダムの様子がよく分かる。 ほんもののダムを写している。 など
---	--	---	--	---

自分の考えにもとづいた写真や絵の選択

(2) 「ダムづくりに関連する写真や図」の中から自分の絵本にのせたいものを選択する。
 (3) ワークシートにはって文とつないだり言葉を書き加えたりする。

ダムづくりの様子を分かりやすく伝えるために絵本のページを工夫したよ。
 (文を短くまとめる。大切な事柄を落とさないように整理して。文だけで分からないところの絵や写真。文や言葉と絵や写真を結びつけて。など)

(4) 絵本のページを仕上げよう。

次は，ダムづくりをするビーバーのページだよ。

- ・全体交流で「そうして」や「その」を提示し，順序を考える時のヒントとなる言葉であることに気付くようにする。
- ・ダムづくりの様子を動作化したり絵や簡易模型で表したりすることで，手順の確認をする。また，木 石 泥の作業工程の間の時間や，繰り返ししていることに気づくよう助言する。
 簡易模型 { 川底...粘土
 木.....えんぴつ
 小枝...数え棒
 石.....けしごむ 等
- ・「動作化」「絵」「簡易模型」の選択は，個性に応じて選択できるように助言する。
- ・段落と結びつけて，段落の手順がダムづくりの一部であることに気づくようにする。
- 評 ダムづくりの手順を簡条書きに表して正しく読みとることができる。
- ・教科書に載せられている写真から読みとれることは，ダムづくりの一部であることに気づき，効果的な絵を考えようとする課題意識をもつことができるようにする。
- ・ダムづくりの様子がよく分かる絵は，どんな絵がよいか児童に考えさせた後，教師が用意した5場面の絵や写真(教科書掲載分2枚を含む)を提示する。
- ・絵や写真に題を付けたり，すでに書いている文や言葉を線でつないだりすることで，非言語を読みとる力や言語とつないで読む力を育てる。
- ・絵や写真を選択しにくい児童には，絵や写真から分かることを具体的に助言して理由づけしやすいように個別に援助する。
- 評 ビーバーの知恵を生かしたダムづくりの様子を読み取り，自分の考えの根拠にもとづいた絵を考えることができる。